


たんほほ



NO. 39
H2. 8. 31
—発行—
〒869-12
熊本県菊池郡
大津町森54-2
社会福祉法人
三気の会
三気の里
TEL096
293-8100

夏休み

理事長 田中 稔

今年の夏は、とんでもない暑い寝苦しい日々でした。今年も園生には2週間の夏休みがありそれぞれの家に帰宅しました。休み中に断片的に私の耳に入って来るお母さん達の子供の家での様子。

『どうしてるね?』

『毎日、食べてばかりで3kg太った』

『眠らないとよ。一番長く寝たので4〜5時間』

『冷蔵庫の中の物をこぼしてしまっ
て困る』

『何もする事が無いので、車でドライブして過ごしてる』

『急に不安定になって病院にも診てもらった』等々です。

園でのリズムのある生活から家

に帰って自由な時間が与えられても親も子もその時間をもてあましている様にも見えます。どこにも行けず、家の中で子供の機嫌と顔色を伺いながら日が経つのを待つといった毎日でなければ良いのですが……。

食べ物や車に子守りをさせるといった日々ではなかったでしょうか? 久しぶりに親の元へ長く帰れる事でどう過ごして良いのかわからず混乱してしまっただけという様な事がなければ幸いです。

(こんな事が心配される長い休みが終わってみて)

親子でどこかへ旅にでも出掛け、楽しい思い出を残ったでしょうか。

兄弟も大変な思いをせずに一緒に楽しく過ごせたでしょうか。もし、

そんな休みが持てた親子があれば

嬉しいですね。
熊本養護学校のプールが卒業生にも解放されています。大変有り難い事です。しかし、このプールの常連の顔ぶれを聞きますと自閉症の子供が殆どの様です。行く所が無い、生活の中心となる事が無いのです。

夏休みは、親と子にとって『生活』と『療育』のへだたりの大きさを実感しあう期間でもある様です。ともあれ親子とも暑い長い休みが終わりました。ようやく暑さも峠を越えて赤トンボが飛ぶ景色も見られる様になりました。再び生活のリズムを取り戻して生き生きとした園での生活が始まります。



平成2年10月18日(木)
出発10時 乗下

療育シリーズ

お兄ちゃん

園長 土井尚典

8月の暑い日に訃報が入って来ました。園生のマコちゃんのお兄さんが仕事中、亡くなったという知らせでした。通夜の日、担当と私は弔間に行きました。マコちゃん

は部屋の中をビヨンビヨンと飛び回ってはお母さんの顔を覗き込んでいました。お母さんが悲しい顔をしているので「笑って頂戴」

「悲しい顔をしないで」と一生懸命ニコニコしているようでした。

お母さんは「兄ちゃんはもう帰らんとよ」と話して聞かせていらしゃったのですが、座敷で寝ているお兄ちゃんが帰らぬ人とは分からないようでした。平川指導員が「マコちゃんは、お母さんに元気出して欲しくて、あんなに訴えている」と目を真つ赤にしているのです。私は「う、うん」というだけでした。

マコちゃんはお兄ちゃんと二人

兄弟です。お兄ちゃんが仕事に出掛けると帰って来るまで待つていました。お兄ちゃんの車の音を聞き分けて、玄関を開けてあげる事を楽しみにしていました。どんなに遅くなくても、家族の誰もが気が付かなくても、マコちゃんは気が付いて、玄関を開けてあげていたそうです。

昭和四六年マコちゃんが生まれて、障害に気が付き、お母さんは働きに行くことが出来なくなりました。そのときから、お母さんはマコちゃんを連れて出来る仕事を考えたそうです。当時は、簡単には仕事が無く、おばあちゃんから竹ボーキの作り方を習い、山で竹を切り、自宅でホーキをつくる仕事をしましたそうです。今では、認定付きの職人さんです。マコちゃんもお母さんについて、竹きり、ホーキ作りを覚え見事な手捌きで作れます。葬儀後、担当と家庭訪問をしたおり、家族に支えられて育てられたマコちゃんが、家族の支

えになっっているように感じました。お兄ちゃんが亡くなって、マコちゃんの将来のこと、ご両親の老後の事など、後から後から不安が沸き上がって来ることと思います。しかし、いまはお兄ちゃんに変わってマコちゃんが家族を支えているように思います。

先日、重複障害児の訓練に参加したおり、Yさんが話し掛けて来られて、「マコちゃんのお兄さんが亡くなった時、うちの息子が泣いてですねー」「同じ職場だったんですけど、お互いに、最初は口も聞かなかつたのが、何かの拍子にお互いに障害の弟がいることが分かって、仲良くなったとです。お互いに行き来してですね。それが、人ごとでなかつた。」

こういった方達やマコちゃんのお母さん、近所の方達が訪問しては、励まして下さるそうです。そういった方々の支えも大きな力になっていると思います。

お兄ちゃんのご冥福をお祈り致します。

夏祭り



東 正実

この夏の暑さにうだり、夏バテした職員の姿がチラホラ見え始めた3月3日、三気の里では年に一度の夏祭りを迎えました。

この日は、当日の日程を決めた後、各係の職員にまかせっぱなしにしてしまった私には『みんなに楽しんでもらえるだろうか?』という不安と共に、もう一つ来て欲しい時には来てくれないくせに、この3〜4日気まぐれのようにやって来る『夕立』という心配がありました。それでも午後になり、続々と集まって下さるボランティアの方々には挨拶をしながら、『頑張るぞ!』と当日の準備にかりました。(と言っても私は進行の打ち合わせとか、あちこちチヨロチヨロしていただけなのですが;)。)

そして、有志の園主、ボランティアさん、職員の頑張りで会場設営、装飾装飾が終わり、ごった返す食卓での夕食が始まろうとする頃、

『きれいに出来たなあ。』中庭を眺めて、蒸し暑いなあと、NO天気だに講えていたのは私だけでした。

さて、『踊るボンポコリン』のテーマに乗って始まった夏祭り、司会の今村さんやボランティアさん方のお陰で模擬店、ゲームコーナーにと盛り上がりつつあった最中、〇〇担当の日ごろの行いの為か少しづつ雨が落ちて来ました。『まじい!中止にしようか?』という思いの反面『出来る限りやるぞ!』と決め、デイスコタイムを盛り上げるよう、三気の里では前代未聞のフルポリュームでのデイスコミュージックと共に上がり続ける打ち上げ花火のもと、回り続けるみんなの踊りの輪。とても奇麗で&バワフルでした。

最後になりましたが、ずぶ濡れになりながらも盛り上げようと頑張ったボランティアさん、本当に有り難うございました。これに懲りず、又遊びに来て下さい。

合民尚王宮宮豊不十

『夏祭り秘話』

今日は楽しい夏祭り。しかし、厨房は戦場でした。ボランティアさんを含む百人分の夕食。久々の商売繁盛で、包丁を持つ手にも力が入りません。さあ5時30分、夕食開始。助っ人の事務長、武藝指導員を含む6人で厨房の中も賑やかです。そして、配膳棚の横では高橋指導員が誘導してくれています。お陰様で思った程の混乱もなく無事終わろうとしていたが、デザートのあんみつがあと6皿(園長、事務長と厨房職員4人分かなあと思っていた)となった時、ボランティアさんと指導員が4人食べに来た。『あれ、もしかして足りない!』どうもあんみつの皿が2皿出ていなかったらしい。残された2皿では手の打ち様もない。私達の分がなかった。同じく食べられなかった園長、坂井主任残念でした。最後の1皿を禁止めと返さず指導員にゆめとう。 午嶋



3 班 キャンプ顛末記

遅“8月の風を両手で抱きしめたら〜”と、7月の風もふかない蒸し暑〜い暑〜い日、(ほんとに今年の夏は寝苦しい夜が続きましたが、皆さん、おかわりありませんでしたでしょうか…この場をかりて、残暑御見舞い申し上げます。)宮崎県は門川町乙島(おとほ)でサバイバルキャンプ(ちわとオバーカ)をやって参りました。その島には飲料水、電気がなく“熊本の名水”白川水源の水を初め食糧、懐中電灯、蚊取線香、etc、何でもかんでも持参して、西瓜割、花火、海水浴、バーベキューと探索と欲張って、なんにもないのにいろいろやって来ました…。が、港の明かりと星空のきれいな乙島の夜は暑く、“クーラーがほしい”“扇風機でいいから”と叫んでいた私はやっぱり文明人…今年は本当にあついですねえ〜。



大塚

4 班 宮崎へ行く

海は広いな大き〜いな! ということで今回4班は、宮崎の青島へ2泊3日のキャンプに出掛けました。のんき号に乗り、父兄も一緒に待望の宮崎へ!自然クーラーの兼ね備わったのんき号、走っている時は良いのですが止まった時の暑いこと。車内はパタパタと手動扇風機(うちわ)が揺れていました。我慢の甲斐あって、到着すると青い海に青い空が私達を歓迎してくれました。連日好天続きで子供の国へ行ったり、海で海水浴をしたりと真っ黒になるまで遊びまくりました。プールも苦手だった創くんすっかり海が気に入りにスイカ割りしたスイカにも目もくれず波と戯れていました。中には怖くて岸の方だけで遊んでいた子もいたけど、それぞれに楽しんでいました。父兄の皆さん、それに青島青年会館の皆さん、いろいろお世話になりました。

山中



5 班 ビアガーデン

5班のメンバーは、夏の暑さをしのぎ、日頃の疲れを癒そうとビアガーデンへでかけました。よく、食堂へ行ってはビールを飲むという松島さん。慣れたものです。さっさと席を見付け私達を手招きしてくれました。場慣れしていないのは私のほう。ドキドキ・キョロキョロ。ビアガーデンは初めて!という辰治さん。“うわ〜っ”とうれしそう。まずは、乾杯!その飲みっぷりといったらおみごとでした。「辰治さん、だいじょうぶね。酔っ払っとらんね。」と人のことを心配していた私は、少し酔ってしまったようで、ぼ〜っとなっていました。2人とも、そんな私をニコニコ笑って連れて帰ってくれました。やっぱり夏の夜は、ビールに限る!と、幸せそうな顔をしていた2人でした。清田





1 班 ホットな夏に異変あり

今年の夏、1班の作業に変化がありました。1班の作業のメインは洗濯物仕分けです。それを今までは、班員12名全員で取り組んでいました。しかし、この1年でみんな良く頑張ってくれたので、今年の4月から発生が増えたにもかかわらず、作業時間が余る様になりました。そこでもっと充実した満足感が得られる様にと考え、一刀両断、班を真二つに分けてしまいました。一方は洗濯物仕分け、もう一方は？と色々考えた結果、食堂掃除をする事にしました。仕分けは、12名でしていた事を6名でしようというのだから今まで以上に頑張ってもらわなければなりません。忠ちゃん、宣陽さん、泰ちゃん、武ちゃん、勝ちゃん、憲ちゃん期待しているからね。一方の食堂掃除は、誠君、肇君、緑恵ちゃん、みっちゃん、聡士君、潔君。「食堂はいつもピカピカでご飯がおいしく食べられるヨ」なんて言われるように頑張ろうネ。1班ファイト！

田辺

2 班 ふぞろいのリンゴ達

今年の夏は酷暑が続き、記録的な暑さだった。その暑さの中でも、2班のリンゴの木（春に井手上さんより頂いたもの）は、すくすく育ちました。どうせ2班だもの、清田がやるんだもの、一個実れば十分などと言われながら、それをバネに慣れない袋がけ・消毒にと努力しました。そのかいあって、夏取りの品種（富士）から20個ほど収穫できました。さっそく食べてみました。「素人が作ったとは思えないくらいおいしかった」というのは手前みそ。午後の作業の合間にアップルパイを作ってみました。料理のテクニックは何とも申せませんが、美味！。今度は秋取りの品種が10月に収穫できる予定です。次は是非、お母さん方にも賞味して頂きたく頑張っております。ただ、これに味をしめて、収穫前におなかに収穫するのではと少々心配です。ね、みんな！美加ちゃん！

坂井



入園に笑して、

伊石ナナエ

三気の里に入所して、早いもので五ヶ月になろうとしています。

この五ヶ月の習さゆりにとつて、本当に色々なことがありました。

その一つは長い園生み慣れた天草の地を、そして小学校一年生の時からお世話になった天草学園のお友達や大好きな先生方と離れたこと。十年余りの長期にわたり、愛情をそいで下さった天草学園の先生方には、本当に感謝の言葉で一一杯です。

幸いにもさゆりは色々な人の親切を受け、たのしく育ってくれました。今回のももさゆりの将来と姉たちの事を考え、家への幸わせの為決意したことです。悲しい思いもさせましたけど、今のさゆりの笑顔をみると決意して良かったと思います。

三気の里の生活に慣れるに従って、色々な事に自信がもてるようになった様で天草まで二時間三十

分の道のりを旅することを覚え、一人でバスに乗るということを経験しました。そのせいか頼つきが何となく大人びたようです。

三気の里の園長先生をはじめ指導員の先生方これからもよろしくお預いします。

体験実習

尚経短大 張部美貴子



7月23日から一週間の、私は三気の里で実習をさせて頂きました。

初めての施設実習で、園生にどう対処したら良いのかわからず戸惑いも多かったのですが日が経つにつれて、園生と慣れ親しむ事が出来る様になり実習がとても楽しい様になりました。

実習を通して園生のみんなは、とても素直で純粋な心を持っていてのだからと感じました。私は、4班の園生と一緒に草を植えたり、水まきや、草取り等の農作業をさせて頂きました。日が照り

つける盛夏、外へ出て作業をするのは大変辛い事なのですが、みんなもくもくと働いているのにはびっくりしました。中には、暑い為か時々カンシヤクを起こしたりする園生もいましたが「頑張ろうね。」などと声をかけると素直に行動してくれました。4班の中では、若い方の私がバテてしまいそうなのに、みんな汗を流して頑張っているのを見て、私も頑張らなければと思いました。

この短い実習の中で園生と接し、共に生活しながら、常に何かを学ぶ事が出来とても勉強になりました。実習中は、どうすれば良いのだらうと迷った事が、今省みてみると、あの時はこうした方が良かったのではないかと思う様になりました。

最後になりましたが、園長先生はじめ先生方には本当にお世話になりました。三気の里で経験した事を次の実習へ向けて生かしていこうと思います。

ぽらんとていあ通信

8月3日、曇天模様、雨模様の夏祭り、たっくさんのボランテイアさん、本当にお世話になりました！。・・・ここに少し、感想を拾わさして頂きます。

随分きついことを想像していましたが、とても楽しかったと思います。(森山さん)

とても楽しくて、楽しくて、準備もできて良かったです。また、友達をつれて、遊びにきたいと思っています。(宮崎さん)

初めての参加で、時間が経つのも忘れるくらい楽しむことができました。ボランティアなどしたことがなかったので、いい経験になったと思います。(藤原さん)

自分から進んできてくれる人もいるし、あまりちかづいてこない子もいたけど、すごく楽しかったです。(芹川さん)

せつかくの夏祭りだったので、雨が降ったのでとても残念だった。でも、とても楽しく過ごせた。ま

た、来たいと思う。(古関さん)

ボランテイアありがとうございます

- 芹川 奈美 藤原 美保
- 森山 和美 宮崎 直子
- 小野 リカ 緒方 由紀
- 西 千春 富田 桂子
- 志賀 加奈子 林 陽子
- 吉岡 留美 高巢 美紀
- 隈部 美貴子 坂本 孝子
- 岩永 靖 岩下 元美
- 右働 智富美 坂口 耕一
- 馬場 誠也 佐々 優子
- 中山 美貴 原 和子
- 石橋 寿美恵 岡田 珠美
- 福島 美幸 寺田 理恵
- 古閑 恭子 永井 ひろみ
- 松永 ルミ子 北添 泰生
- 岡村 裕文 鶴田 雅彦
- 古関 一郎 神田さん

(敬称略)

気になる 栄養の豆

『食次の秋』まではもうちょっと。むしろ、夏バテして何も食べ

られない。あっさりしたもの食べたいという声が聞こえてきそうです。しかし、こういうときこそ規則正しい食生活を送りましょう。今回は、7、9月が最盛期でおいしい夏野菜のナスについて話しましょう。もう食べ飽きた、料理し飽きたと言わずに読んで下さい。ナスの色素はナスニンで、水溶性のため油を使った調理法にすると色の溶出や破壊を防ぎます。また、色を生かすにはみょうばんや釘を入れたり(漬け物)、長時間の加熱を避けず。みそ汁に入れるときは火が通ったらすぐ味噌を入れます。ナスは手頃な値段で、簡単にいろんな一品が作れるので便利です。焼きナス、蒸しナス、天ぷら、彦ざり、田楽、麻婆ナス、煮付け等。いろんな味で楽しめます。カレーやミートソースに入れてもおいしいですよ。これからの秋ナスを楽しんで下さい。

牛蒡



9月の行事予定

1(土)保護者会 シーツ交換 療育相談	11(火)	21(金)
2(日)	12(水)	22(土)
3(月)	13(木)1班レク 誕生会	23(日)
4(火)	14(金)帰宅日 シーツ交換	24(月)
5(水)体重測定	15(土)三気の会療育セミナー	25(火)
6(木)2班レク	16(日)	26(水)
7(金)	17(月)防災訓練	27(木)4班レク
8(土)	18(火)	28(金)大掃除
9(日)	19(水)	29(土)
10(月)	20(木)3班レク	30(日)誕生会

※15日(日) 三気の会 自閉症療育セミナー 於:熊本女子大学

後援会入会

ありがとうございます

後援会会員紹介

水上千恵子	規工川マツエ
井口俊子	嶋田一夫
福田春雪	吉富博樹
宮原富美子	窪 安代
松村俊介	千綿啓子
岡本悦子	岡崎文子
竹中広敏	池永文浩
伊佐治弘	大塚幸伸

八月二十七日付け

※敬称略

この度、後援会へ規工川マツエ様(園生の福田憲幸君の祖母)から、十万円のご寄付をいただきました。規工川様は昨年お亡くなりになり、先日、一周忌を終えられました。生前より孫の憲幸くんのことを思っておられ、そのお気持ちをご寄付という形で贈って下さいました。ありがとうございます。

やろう会9月の日程

- 6(木)中村希・田中・神沢
橋村・金森
8(土)安部・高野
13(木)村上・満塩・渡辺慎
20(木)島津・坂田・伊石
いつも、お手伝い御苦労様です。

求む!

栄養士さん・

調理士さん

現在、三気の里では、厨房職員が不足して、てんてこまいしております。

心当たりの方、また、働いてみたい方、御一報下さい。

—事務—

編集後記

現在三気の里では、毎月第一、第三土曜日、午後三時～五時に療育相談室を開設致しております。

自閉症児者が出来る限り通常の暮らしが出来るよう、相談・援助していく機関です。費用は無料です。ご相談の場合はあらかじめ電話を下さい。

浮